

人気ドラマ『クローザー』のスピノフ作品、日本初上陸
司法取引で事件解決！
『Major Crimes ～重大犯罪課』
FOX チャンネルで 2013年8月14日(水)日本初放送スタート



大人気シリーズ『クローザー』のスピノフ作品『Major Crimes ～重大犯罪課』をFOX(運営:FOX インターナショナル・チャンネルズ株式会社、本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:小泉喜嗣)にて2013年8月14日(水)23:00より日本初放送いたします。

『Major Crimes ～重大犯罪課』はロス市警の重大犯罪課(Major Crimes Division)を舞台に、少ない証拠から容疑者との“交渉”で事件を解決へと導くクライム・サスペンスドラマです。本作では、重大犯罪課の新リーダーとなった女性警部レイダーが、司法取引による逮捕の効率化という課の新たな方針のもと、ベテラン男性捜査官たちの反発に苦戦しながらも、巧みな手腕で事件を解決に導く姿を描きます。

エミー賞&ゴールデン・グローブ賞受賞ドラマ『クローザー』の制作陣、主要キャストはそのままに、『クローザー』の最終話直後からストーリーがスタート。オリジナル番組のファンの心を掴みながら、“司法取引”に焦点を当てることで、減刑を交換条件に犯人逮捕に持ち込むなど毎回驚きの交渉術が展開。新しい作品として魅力あるドラマに仕上がっています。アメリカでは既に2013年6月からシーズン2が放送中で、前作を引き継ぐ新たな人気作として注目が集まっています。

本家ドラマ『クローザー』はシーズン1からFOXCRIMEで絶賛放送中です。

FOXチャンネルは、引き続きアメリカで人気のジャンルや話題作をいち早く日本の視聴者にお届けしてまいります。

画像クレジット: ©2011 Warner Bros. Entertainment Inc.

＜放送スケジュール＞

『Major Crimes ～重大犯罪課』

FOXチャンネルにて 2013年8月14日(水)放送スタート、毎週(水)23:00～23:55 他

＜『Major Crimes ～重大犯罪課』ストーリー＞

ロス市警の重大犯罪課(Major Crimes Division)で元チーフ、ブレンダに代わりチームの指揮を執ることになった主人公、レイダー警部。司法取引による犯人逮捕の効率化という課の新たな方針の元に配属されたレイダーが、叩き上げのベテラン捜査官たちの反発に苦戦しながらも、巧みな手腕で事件を解決に導いていく姿がテンポよく描かれる。

＜本家ドラマ『クローザー』放送スケジュール＞

『クローザー』 シーズン1

FOXCRIMEにて毎週金曜 21:00～二カ国語版を、毎週日曜 20:00～字幕版を放送中

画像クレジット: ©Warner Bros. Entertainment Inc.



＜報道関係者の方のお問い合わせ先＞

FOX インターナショナル・チャンネルズ マーケティング部 PR 担当 foxtvpr@fox.com

【『Major Crimes ～重大犯罪課』 エピソード概要】

第1話 新リーダーの新手法

スーパーに押し入った強盗グループが警察官と撃ち合いになり、犯人数名が死亡。重大犯罪課のチームが駆けつけ、生き残った仲間1人から話を聞きだそうとしたところ、彼はパトカー内で狙撃されてしまう。犯人グループの手掛かりを掴もうと、チームは残りの逃亡犯の捜査に乗り出す。そんな中、遅れて現場に到着したレイダー警部は、その場を境に重大犯罪課の指揮官になることに。潜入捜査で犯人グループを追っていたサイクス捜査官も、課への異動が決まる。一方で、署には殺人事件の重要参考人である少年、ラスティーが現れ、レイダーは彼の母親探しと身元保護に対し責任を持つ立場に立たされる。



第2話 罪深き夫

プライベートジムを経営するパーソナルトレーナーが自身のジムで惨殺される。その後、彼は複数の女性クライアントに暴行を加えていたことが発覚し、複雑な事情が明らかになっていく。レイダーはチームの信頼をなかなか得られない中、ラスティーを24時間監視しなければならない、苦戦を強いられることに。



第3話 衝突事故

入場客で賑わうナイトクラブの入り口に猛スピードで車が突っ込み複数の死傷者が出る。運転手の女性は意識が朦朧としていて、飲酒や薬物の疑いがかかり、チームは捜査を始めることに。そんな中、ラスティーの母親の行方が分かり、LAに彼女を迎え入れることになるが...



第4話 The Ecstasy and the Agony (原題)

イスラエル人の投資家が自宅で銃殺される。被害者はビジネスパートナーであるこの薬物絡みの案件に関してFBIから供述を求められており、一家はFBIの保護により別の土地での暮らしを提供される目だった。重大犯罪課はFBIと協力し犯人を捜すが、被害者の妻が"ライフコーチ"に全てのいきさつを話していたことが分かり...

一方、ラスティーは学校の初日を迎えるが、問題を起こしてしまう。

※マイケル・ウェザリー(『NCIS ～ネイビー犯罪捜査班』ディノッツォ役)がゲスト出演！



第5話 Citizen's Arrest (原題)

廃棄物処理のドラム缶の中から男性の遺体が見つかる。被害者は学生で、同級生の証言では彼はここ数日学校を休んでいたという。その後、両親は警察に届け出ていなかったが、被害者と共に妹も誘拐されていたことが判明。チームは家族に接触を図る。



【『Major Crimes ～重大犯罪課』 キャスト紹介】

シャロン・レイダー役

ロス市警の重大犯罪課(Major Crimes Devision)に警部として新たに異動してくる。叩き上げの部下たちからの反感をもとめせず、規則を重視し、チームを引っ張っていく。

メアリー・マクドネル

ペンシルベニア州出身。エミー賞と2度のアカデミー賞ノミネート経験を持つ。大人気シリーズ『クローザー』にシャロン・レイダー役で出演し、エミー賞ゲスト女優賞にノミネート。本作では、同役で主役を務める。本作以外にもゲスト出演を含め、数多くのドラマシリーズに出演しており、存在感のある役どころを演じている。代表的な作品に、『GALACTICA/ギャラクティカ』、『グレイズ・アナトミー』、『ER 緊急救命室』などがある。また、映画や舞台でも活躍しており、ケヴィン・コスナー主演の『ダンス・ウィズ・ウルブズ』ではアカデミー賞助演女優賞にノミネートされた。舞台では、『Still Life』の演技が評価され、オフ・ブロードウェイ

で栄誉ある賞・オビー賞を受賞している。その他の出演作品は『ドニー・ダーコ』、『マージン・コール』、『スクリーム 4:ネクスト・ジェネレーション』など。

**ルイ・プロベンザ役**

重大犯罪課の警部補であり、最年長。怒りっぽい性格であり、自分より年下のレイダーが上司としてやって来たことを、あまり良く思っていない。

G.W. ペイリー

テキサス州出身の40年以上の芸歴を持つベテラン俳優。テキサス工科大学で演技のトレーニングを始め、ルイスヴィルのアクターズ・シアターで俳優としてのキャリアをスタートさせる。ロサンゼルスに移住後、舞台出演を続けながら、『マッシュ』、『The Jeff Foxworthy Show』、『St. Elsewhere』などのテレビドラマにも出演。映画にも活動の場を広げ、出演作品には『マネキン』『ショート・サーキット』などがあり、『ボリス アカデミー』シリーズのサデウス・ハリス役で非常に有名である。俳優活動の傍ら、チャリティー活動も熱心

に行っており、癌患者である子どもたちのためのNPO 団体サンシャインキッズ財団の事務局長を務めている。

**アンディー・フリン役**

重大犯罪課の警部補。自身の仕事に情熱を持っている。チームが困難な状況に陥っているときなどは、独特の皮肉を交えて現場の空気を和ませることも。

トニー・デニソン

ニューヨーク州出身。マイケル・マン製作総指揮のテレビドラマ『クライム・ストーリー』のレイ・ルカ役でテレビデビューを果たし、同役でTime 誌の"1980年代の悪役 No.1"に選ばれる。その後、映画、テレビで活躍を続けている。主な出演作品は、『Little Vegas』、『Art of Revenge』、『CSI:科学捜査班』、『クリミナル・マインド』、『ポストン・リーガル』、『プリズン・ブレイク』、『The O.C.』など多数。また、友人と共同でプロダクション会社を設立した。

**マイク・タオ役**

重大犯罪課の警部補。技術関連に精通している。その豊富な知識を生かし、事件を解決へ導く。

マイケル・ポール・チャン

カリフォルニア州出身。俳優になる前は、バンドを組みミュージシャンとして活動していた。俳優としては、200以上の作品に出演。主な出演作品は、『天と地』、『フォーリング・ダウン』、『追跡者』、『スパイ・ゲーム』など。テレビ出演には、『BONES』、『アレストッド・ディベロップメント』などがある。また、『シンプソンズ』のゲスト出演では、声優も経験。

**フリオ・サンチェス役**

重大犯罪課の捜査官。チームで唯一スペイン語が話せ、複雑なLAのマフィア事情に精通している。常に冷静に物事を考えることができる。

レイモンド・クルス

カリフォルニア州ロサンゼルス出身。『クローザー』シリーズのサンチェス役(本作と同役)で、ラテン・エンターテインメント界に貢献した俳優に贈られるImagen Awardの最優秀助演男優賞を受賞。『トレーニングデイ』、『コラテラル・ダメージ』、『エイリアン 4』など、様々な映画に出演し、近年はテレビドラマを中心に活躍している。ゲスト出演を含めた主なドラマ出演に『マイネーム・イズ・アール』、『24-TWENTY FOUR-』、『NIP/TUCK マイアミ整形外科医』、『CSI:科学捜査班』、『CSI:マイアミ』、『X ファイル』などがある。



【『Major Crimes ～重大犯罪課』 キャスト紹介】 続き

**バズ・ワトソン役**

重大犯罪課モニター室の技術者。事件現場の撮影記録も担当する。ロス市警の支給する機器が古く、不満を募らせている。

フィリップ・P・キーン

2002年に、『Role of a Lifetime』で俳優デビュー。『Home』の司会者や、『The DA』のゲスト出演など、テレビにも活躍の場を広げ、『クローザー』シリーズで名を知られる。語学が堪能で、スペイン語とドイツ語を話す。カリフォルニア大学では歴史/美術史を専攻。俳優の道を志す前に、パイロットのライセンスを取得している。

**エイミー・サイクス役**

新たに重大犯罪課に異動してきた捜査官。アフガニスタンで軍務についていた経歴を持つ。優秀な潜入捜査官でもあったが、チームでは新人であるため、実力を認めてもらおうと奮闘している。

キーラン・ジョヴァンニ

テキサス州ケイティ出身。2012年放送の昼間ドラマ『One Life to Live』の、ヴィヴィアン・ライト医師役で名を知られている。『LAW & ORDER』、『ロイヤル・ペインズ』などにも出演。ブロードウェイでのキャリアもスタートさせ、『Hugh Jackman: Back on Broadway』でヒュー・ジャックマンと共演。舞台版『ビッグ・フィッシュ』にも出演予定であり、マイケル・C・ホールの相手役・ジョセフィンを演じる。

**ラスティ・ベック役**

元ホームレスの少年。殺人事件の目撃者としてロス市警の保護下に置かれているが、里親とうまくいかずレイダーと共に暮らすように。自分を置き去りにした母親の行方を捜している。

グレアム・パトリック・マーティン

ルイジアナ州シボドー出身。パフォーミング・スクールに通い、演技経験を積む。プロの俳優としてのデビューは、2003年の『Mrs. Bob Cratchit's Christmas Binge』(チャールズ・ディケンズ『クリスマス・キャロル』のパロディ)。スクリーンデビューは、2007年のスリラー映画『隣の家の少女』である。若いながらも、24本以上の舞台を経験し、『グリース』のダニー・ズーコ役や、『バグジー・マローン』のバグジー役など主役も多く演じている。テレビドラマは『LAW & ORDER: クリミナル・インテント』、『iCarly』などへゲスト出演しており、2007 - 2009年放送のシットコム『The Bill Engvall Show』では、ヤング・アーティスト・アワードを受賞している。